

## スクリーニングを活用した支援会議とは

スクリーニング（すべての児童生徒から気になる子をピックアップすること）により対象となった児童生徒に対して支援の方向性（適切な支援や対応）を決定する会議

### メリットと効果

- 課題を抱える児童生徒の早期発見 → **新規の不登校児童生徒数が抑制**
- 早期対応により重大事案の予防 → **長期的な負担の軽減**
- 教職員1人の抱え込みの防止 → **チーム力の向上**
- 児童生徒理解が深まる → **アセスメント力の向上**



## スクリーニングを活用した支援会議の進め方

### STEP① スクリーニングの準備

- 出欠席データを用意
- しなのき児童生徒意識アンケートやいじめアンケート実施後は結果を用意



### STEP② 初期スクリーニング

- 定期的に学年会等で実施
- すべての児童生徒が対象
- ①の客観的なデータにより支援が必要な児童生徒をチェック
- 複数の教職員の主観的な視点から気になる児童生徒をチェック
- 校内チーム支援会議で取り上げる児童生徒をピックアップ
- 支援の方向性を決定**
- スクリーニングシートにまとめる

**早期発見**



### STEP③ 【臨時】校内チーム支援会議（困難ケース・緊急対応等）

- 早期対応が必要な場合に開催
- 対象は個別の児童生徒
- 参加者は参集できる主要な関係者とし、必要に応じてSSWやSC等、外部の専門家や指導主事等に参加を要請
- 支援の内容と効果を確認
- 支援の方向性を決定**



### STEP③ 【定期】校内チーム支援会議（長野市版スクリーニング会議）

- 年4回以上実施（年歴に位置付け）
- 対象は②でピックアップした児童生徒
- 参加者は校長、教頭、教務主任、学年主任、登校支援Co、養護教諭等
- SSWやSC等、外部の専門家や指導主事等を交えて実施
- 支援の内容と効果について、外部の視点で確認、状況により変更を検討し**支援の方向性を決定**



### STEP④ 個別支援会議・関係者会議

- 必要に応じて本人や保護者を交えた支援会議や関係者のみでの会議を開催
- 必要に応じて教育、医療、福祉など外部関係者の出席を要請
- 本人や保護者の意向を確認し、学校の支援について合意を図る
- 具体的な支援策や短期目標を設定**



### STEP⑤ 支援の実践

- 決定した支援の方向性に基づき、それぞれの立場で実践
- 児童生徒の状況に応じて本人や保護者、関係者と相談、連携して実施



**早期対応**

STEP②③で確認・評価

### ポイント『支援の方向性を決定』

②③④において具体的な支援の方向性A～Cを決定し、役割分担に基づいた支援を実践 → **誰一人取り残さない支援の仕組み**

支援の方向性

- A 学校支援**（教職員のアプローチ、校内相談室等）
- B 地域資源の活用**（市中間教室、フリースクール、民間施設等）
- C 専門機関の活用**（医療、福祉、教育センター、児童相談所等）

個別支援会議  
関係者会議の  
開催判断

役割分担

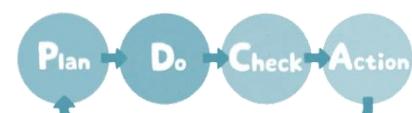
- 誰が
- いつまでに
- 何を

支援の実践

## 年間スケジュール例

内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
しなのきアンケート			●				●						年2回実施、結果は①でチェック
いじめアンケート		●			●			●			●		年4回実施、結果は①でチェック
STEP①② 初期スクリーニング	→												出欠席データは常時チェック
STEP③ 【定期】校内チーム支援会議		●		●			●				●		年4回以上実施
STEP④⑤ 会議・支援の実践・評価	→												②③により随時対応

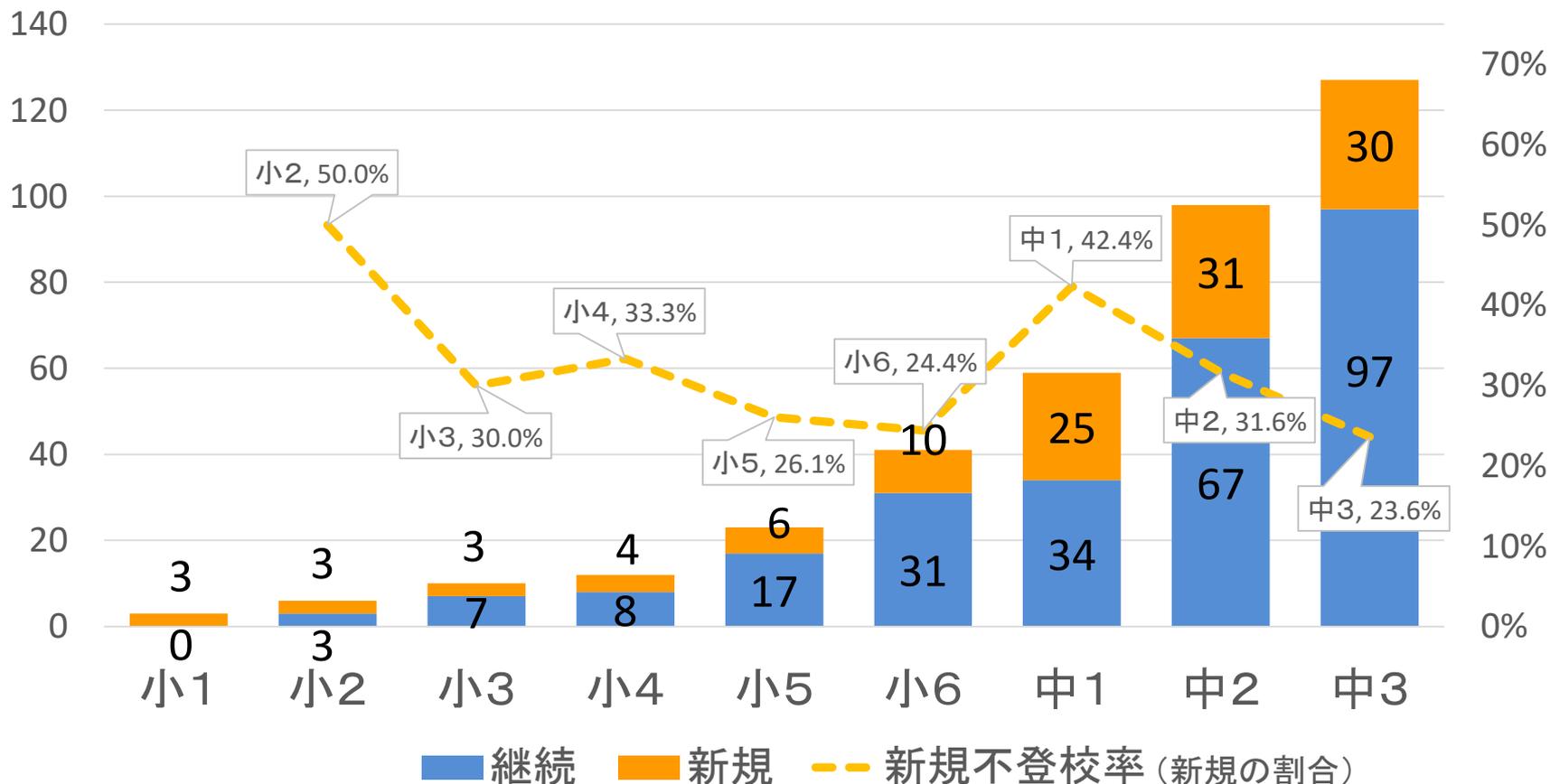
- 学年会における初期スクリーニングは毎月実施し、支援の方向性を決定して役割分担により実践
- しなのき・いじめアンケート実施後は結果を初期スクリーニングに活用
- 【定期】校内チーム支援会議は**年4回以上実施**（年歴に位置付け）



# 長野市不登校の状況と令和4年度登校支援策について

## 【R3上半期】学年別新規不登校数と継続不登校数

小学校 95人  
中学校 284人



**中学1年の新規不登校率が高い**

※長野市「令和3年度上半期調査」より

# 不登校児童生徒数の推移【上半期 R1→R3】

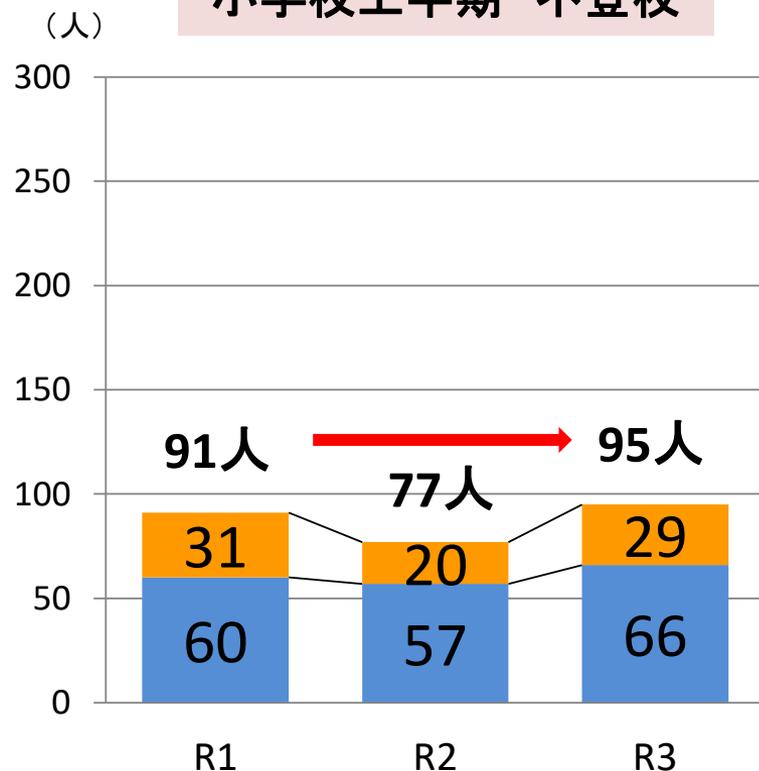
## 不登校児童生徒数の経年変化

※欠席30日以上の不登校児童生徒数（9月末）

【令和1～3年度 上半期調査】

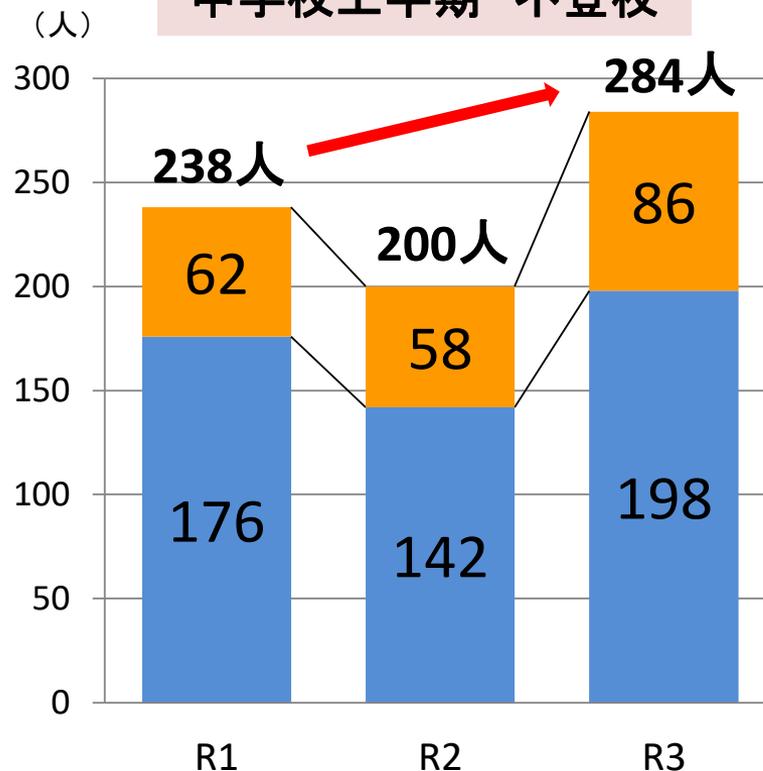
※「新規」=昨年度の欠席日数30日未満  
 ※「継続」=昨年度の欠席日数30日以上  
 ※令和2年度は登校日数が約20日例年より少ない

小学校上半期 不登校



■ 継続 ■ 新規

中学校上半期 不登校



■ 継続 ■ 新規

R3上半期 不登校数は中学校で増加

# 令和3年度の取り組み

## I スクリーニングを活用した支援会議の実施

- 不登校の在籍率が高い小・中学校(各3校)を重点校に指定しSSWを派遣
- 指導主事が登校支援策について指導・助言

重点校の新規不登校率が減少

新規不登校率が長野市全体を下回る

※長野市「令和3年度上半期長期欠席児童生徒の状況報告(速報値)」より

令和4年度はSSWの活動時間を拡大



## II 教室以外の居場所づくり

⇒民間施設・団体との連携ネットワーク拡大「情報交換会」「居場所冊子作成」

## III ICT等の活用による学習支援

⇒オンライン学習教材や授業のライブ配信を活用した支援策の拡充

## IV 小学校から中学校への移行支援の充実

⇒中学進学に向けた支援会議の充実、スクリーニング資料等の情報共有



# 令和4年度登校支援策の方向

## I 【長野市版】スクリーニング会議の実施

○出欠データやアンケートを活用した「初期スクリーニング」の実施

○全ての小・中学校にSSWを派遣

○外部の専門家や指導主事を交えて実施

**早期対応の徹底&支援策の拡充  
新たな不登校を生まない体制づくり**



## II 教室以外の居場所の拡充

○民間施設・団体との連携ネットワークの拡充

## III ICT等の活用による学習支援と評価の充実

○学習状況を把握し、定期的な対面指導やテストの実施により、評価へ反映

## IV 小学校から中学校への移行支援の充実

○重点校エリアを設定し、小中連携を推進

